

指定管理者総合評価表

評価対象年度	令和 6 年度	番号	1
施設名称	福祉まちづくりセンター	所管課	福祉相談課
指定管理者名	社会福祉法人伊那市社会福祉協議会	施設区分	社会福祉施設
指定期間	R3.5.6 ~ R8.3.31	施設設置条例	伊那市福祉まちづくりセンター条例
実施事業概要			

【事業収支】

市 決 算 額		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
歳 入						
歳 出		11,732	12,591	14,258	13,985	15,532
実 支 出 額		11,732	12,591	14,258	13,985	15,532
指 定 管 理 者 収 支		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
収入	指定管理料	11,732	12,591	14,258	13,985	15,532
	利用料等	2,659	2,915	3,737	3,802	3,498
	計(A)	14,391	15,506	17,995	17,787	19,030
支出	人件費	6,097	5,378	7,025	6,500	7,361
	事業費	1,407	1,472	1,713	2,063	2,078
	事務費	6,500	8,259	8,754	8,804	9,154
	計(B)	14,004	15,109	17,492	17,367	18,593
差引収支額(A)－(B)		387	397	503	420	437

【管理運営実績】

施設利用状況	利用区分等	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	利用者数	7,895	12,563	17,187	20,705	20,355
	自主事業集客数					
	(特記事項)	令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症対策が緩和され利用者数が回復した。				

【管理運営全般】

1 施設の管理について

評価項目及び評価のポイント		指定 管理者	所管課
職員配置		4	5
・専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じ配置されているか			
・法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
・施設を適切に運営するための人員配置がされているか			
・職員の能力向上を図るための研修が適切に行われたか			
経理の方法、管理運営の安定性		4	4
・施設運営のための経営方針は適切か			
・管理運営に係る収支の内容は適切か			
・指定管理料、利用料等の取り扱いは適正か			
・収支計画と事業計画の整合はとれていたか			
・経費節減のための取り組みは適切に行われたか、無理な抑制でないか			
・団体の経営状況は安定しているか			
施設管理		4	3
・日報、月報が所定の期日までに提出されたか			
・保守点検、清掃、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか			
・備品の管理は適切に行われたか			
・必要な修繕が行われているか			
<評価の理由>（指定管理者）			
・職員間で情報を共有し対応できるように努めた。			
・必要最小限の経費で質の高いサービスを提供できるように努めた。			
<評価の理由>（施設所管課）			
・専門性を備えた職員配置を行っており、福祉活動の拠点としての役割を果たしている。			
・保守点検、清掃、警備など、必要な施設管理は問題なく行っている。			

2 施設の運営について

評価項目及び評価のポイント		指定 管理者	所管課
利用者サービス、事業内容		4	3
・サービス向上のための取り組みは適切か			
・利用者アンケート等により利用者のニーズを把握しているか			
・利用者の満足度を得られているか			
・利用者のトラブルの未然防止と対処方法は適切か			
・利用者とのトラブルは発生していないか			
・利用促進の取り組みは適切か			
・利用者の平等な利用の確保がされているか			
・使用許可や減免等の手続きが適切か			
・事業内容等に偏りはないか			
・自主事業の内容は適正か			
危機管理		4	4
・危機管理マニュアルなどが整備されているか			
・危機管理マニュアルなどの周知が職員にされているか			
・安全管理・安全対策は適切か			
・防犯・防災の対策、体制は適切か			
・事故発生時や非常時の対応は適切か			
・必要な保険に加入し、利用者からの損害賠償請求への対応措置は講じられているか			
・法令を遵守し、個人情報の保護等に適切に取り組んでいるか			
地域連携		4	4
・地域の声を聞く体制は適切か			
・地域に貢献できる運営がされたか			
・他施設との連携が行われたか			
・地域雇用への配慮が行われたか			
<評価の理由>(指定管理者)			
・デマンド監視装置により使用電力を抑え、エアコン使用時にサーキュレーターの使用を職員及び利用者 に周知し協力を求めた。			
・防災訓練を実施(地震想定、夜間の火災想定)し非常時の対応に備えた。			
・交流スペースや展示スペースを市民が気軽に利用できるように取り組んだ。			
<評価の理由>(施設所管課)			
・夜間火災想定避難訓練を行うなど危機管理対策に努めている。			
・地域の要望等を聴く中で、地域貢献に寄与した運営に努めている。			

3 評価点の平均と今後の対応

	評価(平均)	今後の対応(評価(平均)が「3.0」未満の場合)
指定 管理者	4	
所管課	3.8	

- 5 極めて良好に実施されている。
4 適正に実施されている。
3 概ね適正に実施されている。
2 一部改善が必要である。
1 改善が必要である。

指定管理者総合評価表

評価対象年度	令和 6 年度	番号	5
施設名称	長谷デイサービスセンター	所管課	社会福祉課
指定管理者名	社会福祉法人伊那市社会福祉協議会	施設区分	社会福祉施設
指定期間	R5.4.1 ~ R8.3.31	施設設置条例	伊那市デイサービスセンター条例
実施事業概要			

【事業収支】

市 決 算 額		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
歳 入						
歳 出						
実 支 出 額		0	0	0	0	0
指 定 管 理 者 収 支		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
収入	指定管理料					
	利用料等	43,720	39,931	40,207	34,592	29,951
	計(A)	43,720	39,931	40,207	34,592	29,951
支出	人件費	27,665	27,790	30,760	28,368	26,170
	事業費	4,900	4,925	5,571	5,337	4,989
	事務費	7,666	8,083	8,246	7,551	5,560
	計(B)	40,231	40,798	44,577	41,256	36,719
差引収支額(A)－(B)		3,489	-867	-4,370	-6,664	-6,768

【管理運営実績】

施設利用状況	利用区分等	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	利用者数	3,918	3,664	3,477	3,153	2,701
	自主事業集客数					
	(特記事項)	年々利用者が減少している。				

【管理運営全般】

1 施設の管理について

評価項目及び評価のポイント		指定 管理者	所管課
職員配置		5	5
・専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じ配置されているか			
・法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
・施設を適切に運営するための人員配置がされているか			
・職員の能力向上を図るための研修が適切に行われたか			
経理の方法、管理運営の安定性		4	4
・施設運営のための経営方針は適切か			
・管理運営に係る収支の内容は適切か			
・指定管理料、利用料等の取り扱いは適正か			
・収支計画と事業計画の整合はとれていたか			
・経費節減のための取り組みは適切に行われたか、無理な抑制でないか			
・団体の経営状況は安定しているか			
施設管理		3	3
・日報、月報が所定の期日までに提出されたか			
・保守点検、清掃、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか			
・備品の管理は適切に行われたか			
・必要な修繕が行われているか			
＜評価の理由＞（指定管理者）			
・ボイラーやトイレ、チェアー浴等の故障があり修繕を行っている。			
・利用者確保、職員数の減等支出削減に取り組んだが、670万円余の赤字となった。			
＜評価の理由＞（施設所管課）			
・利用者に配慮しつつ、収支状況の改善に向けて取り組んでいる。			

2 施設の運営について

評価項目及び評価のポイント		指定 管理者	所管課
利用者サービス、事業内容		5	5
・サービス向上のための取り組みは適切か			
・利用者アンケート等により利用者のニーズを把握しているか			
・利用者の満足度を得られているか			
・利用者のトラブルの未然防止と対処方法は適切か			
・利用者とのトラブルは発生していないか			
・利用促進の取り組みは適切か			
・利用者の平等な利用の確保がされているか			
・使用許可や減免等の手続きが適切か			
・事業内容等に偏りはないか			
・自主事業の内容は適正か			
危機管理		4	4
・危機管理マニュアルなどが整備されているか			
・危機管理マニュアルなどの周知が職員にされているか			
・安全管理・安全対策は適切か			
・防犯・防災の対策、体制は適切か			
・事故発生時や非常時の対応は適切か			
・必要な保険に加入し、利用者からの損害賠償請求への対応措置は講じられているか			
・法令を遵守し、個人情報の保護等に適切に取り組んでいるか			
地域連携		4	4
・地域の声を聞く体制は適切か			
・地域に貢献できる運営がされたか			
・他施設との連携が行われたか			
・地域雇用への配慮が行われたか			
<評価の理由>（指定管理者）			
・利用者への満足度アンケートを実施し、利用者やご家族からの声を把握した。			
・月3～4回地域ボランティアの受け入れを行い地域交流を行っている。			
・BCPマニュアルを作成している。地域と協働した避難訓練を計画したが天候のため中止となった。			
<評価の理由>（施設所管課）			
・利用者サービスの向上に向けた利用者からの生の声を吸い上げている。			
・地域ボランティアを受け入れるなど、地域との交流を行い、地域に密着した経営に努めている。			

3 評価点の平均と今後の対応

	評価(平均)	今後の対応(評価(平均)が「3.0」未満の場合)
指定 管理者	4.2	5 極めて良好に実施されている。 4 適正に実施されている。 3 概ね適正に実施されている。 2 一部改善が必要である。 1 改善が必要である。
所 管 課	4.2	

指定管理者総合評価表

評価対象年度	令和 6 年度	番号	6
施設名称	高齢者生活福祉センターくつろぎの家	所管課	社会福祉課
指定管理者名	社会福祉法人伊那市社会福祉協議会	施設区分	社会福祉施設
指定期間	R5.4.1 ~ R8.3.31	施設設置条例	伊那市高齢者生活福祉センター条例
実施事業概要			

【事業収支】

市 決 算 額		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
歳 入						
歳 出		8,614	9,468	9,785	9,725	10,193
実 支 出 額		8,614	9,468	9,785	9,725	10,193
指 定 管 理 者 収 支		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
収入	指定管理料	8,614	9,268	9,287	9,607	10,075
	利用料等	47,994	47,280	44,992	46,096	42,986
	計(A)	56,608	56,548	54,279	55,703	53,061
支出	人件費	39,100	42,030	40,625	41,319	41,447
	事業費	7,648	12,170	10,393	8,682	9,511
	事務費	11,107	7,904	11,358	12,439	8,561
	計(B)	57,855	62,104	62,376	62,440	59,519
差引収支額(A)－(B)		-1,247	-5,556	-8,097	-6,737	-6,458

【管理運営実績】

施設利用状況	利用区分等	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	利用者数	4,707	4,599	4,051	4,309	4,215
	自主事業集客数	3,985	3,408	2,556	2,048	1,947
	(特記事項)	・居住部門の利用者数が減少している。				

【管理運営全般】

1 施設の管理について

評価項目 及び 評価のポイント		指定 管理者	所管課
職員配置		5	5
・専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じ配置されているか			
・法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
・施設を適切に運営するための人員配置がされているか			
・職員の能力向上を図るための研修が適切に行われたか			
経理の方法、管理運営の安定性		4	4
・施設運営のための経営方針は適切か			
・管理運営に係る収支の内容は適切か			
・指定管理料、利用料等の取り扱いは適正か			
・収支計画と事業計画の整合はとれていたか			
・経費節減のための取り組みは適切に行われたか、無理な抑制でないか			
・団体の経営状況は安定しているか			
施設管理		3	3
・日報、月報が所定の期日までに提出されたか			
・保守点検、清掃、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか			
・備品の管理は適切に行われたか			
・必要な修繕が行われているか			
<評価の理由> (指定管理者)			
・利用者確保、支出削減に取り組んだが、640万円余の赤字となった。			
・消防設備点検で不備を指摘されているが、修繕に至っていないため、今後計画的な修繕が必要。			
<評価の理由> (施設所管課)			
・利用者に配慮しつつ、収支状況の改善に向けて取り組んでいる。			

2 施設の運営について

評価項目及び評価のポイント		指定 管理者	所管課
利用者サービス、事業内容		5	5
・サービス向上のための取り組みは適切か			
・利用者アンケート等により利用者のニーズを把握しているか			
・利用者の満足度を得られているか			
・利用者のトラブルの未然防止と対処方法は適切か			
・利用者とのトラブルは発生していないか			
・利用促進の取り組みは適切か			
・利用者の平等な利用の確保がされているか			
・使用許可や減免等の手続きが適切か			
・事業内容等に偏りはないか			
・自主事業の内容は適正か			
危機管理		4	4
・危機管理マニュアルなどが整備されているか			
・危機管理マニュアルなどの周知が職員にされているか			
・安全管理・安全対策は適切か			
・防犯・防災の対策、体制は適切か			
・事故発生時や非常時の対応は適切か			
・必要な保険に加入し、利用者からの損害賠償請求への対応措置は講じられているか			
・法令を遵守し、個人情報の保護等に適切に取り組んでいるか			
地域連携		4	4
・地域の声を聞く体制は適切か			
・地域に貢献できる運営がされたか			
・他施設との連携が行われたか			
・地域雇用への配慮が行われたか			
<評価の理由> (指定管理者)			
・地元長藤地区に通所介護事業のチラシを回覧し、事業所の理解とPRに務めた。			
・BCP対応マニュアルを作成している。			
<評価の理由> (施設所管課)			
・自然災害等に対して業務を継続できるよう体制を整えている。			
・地元に対し通所介護事業のPR等を行い、経営等へ理解をいただくよう努めている。			

3 評価点の平均と今後の対応

	評価(平均)	今後の対応(評価(平均)が「3.0」未満の場合)
指定 管理者	4.2	5 極めて良好に実施されている。 4 適正に実施されている。 3 概ね適正に実施されている。 2 一部改善が必要である。 1 改善が必要である。
所 管 課	4.2	

指定管理者総合評価表

評価対象年度	令和 6 年度	番号	7
施設名称	長谷高齢者専用住宅	所管課	社会福祉課
指定管理者名	社会福祉法人伊那市社会福祉協議会	施設区分	社会福祉施設
指定期間	R5.4.1 ~ R8.3.31	施設設置条例	伊那市高齢者専用住宅条例
実施事業概要			

【事業収支】

市 決 算 額		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
歳 入						
歳 出						
実 支 出 額		0	0	0	0	0
指 定 管 理 者 収 支		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
収入	指定管理料	0	0	0		
	利用料等	1,524	1,535	846	660	773
	計(A)	1,524	1,535	846	660	773
支出	人件費	1,115	1,280	793	606	607
	事業費	400	246	53	54	156
	事務費	9	9	0	0	10
	計(B)	1,524	1,535	846	660	773
差引収支額(A)－(B)		0	0	0	0	0

【管理運営実績】

施設利用状況	利用区分等	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	利用者数	3,164	3,226	1,979	1,464	1,552
	自主事業集客数					
	(特記事項)	・1名利用者が増え利用者数が増加した。				

【管理運営全般】

1 施設の管理について

評価項目 及び 評価のポイント		指定 管理者	所管課
職員配置		4	4
・専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じ配置されているか			
・法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
・施設を適切に運営するための人員配置がされているか			
・職員の能力向上を図るための研修が適切に行われたか			
経理の方法、管理運営の安定性		4	4
・施設運営のための経営方針は適切か			
・管理運営に係る収支の内容は適切か			
・指定管理料、利用料等の取り扱いは適正か			
・収支計画と事業計画の整合はとれていたか			
・経費節減のための取り組みは適切に行われたか、無理な抑制でないか			
・団体の経営状況は安定しているか			
施設管理		4	4
・日報、月報が所定の期日までに提出されたか			
・保守点検、清掃、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
・備品の管理は適切に行われたか			
・必要な修繕が行われているか			
<評価の理由>（指定管理者）			
・入居者への緊急対応等の対応は、多機能型施設さくらの家の職員が行っている。			
・老朽化に伴い修繕が必要な箇所が増加している。			
<評価の理由>（施設所管課）			
・施設管理など適切に行われている。緊急時の職員体制が確保されている。			

2 施設の運営について

評価項目及び評価のポイント		指定 管理者	所管課
利用者サービス、事業内容		3	3
・サービス向上のための取り組みは適切か			
・利用者アンケート等により利用者のニーズを把握しているか			
・利用者の満足度を得られているか			
・利用者のトラブルの未然防止と対処方法は適切か			
・利用者とのトラブルは発生していないか			
・利用促進の取り組みは適切か			
・利用者の平等な利用の確保がされているか			
・使用許可や減免等の手続きが適切か			
・事業内容等に偏りはないか			
・自主事業の内容は適正か			
危機管理		3	3
・危機管理マニュアルなどが整備されているか			
・危機管理マニュアルなどの周知が職員にされているか			
・安全管理・安全対策は適切か			
・防犯・防災の対策、体制は適切か			
・事故発生時や非常時の対応は適切か			
・必要な保険に加入し、利用者からの損害賠償請求への対応措置は講じられているか			
・法令を遵守し、個人情報の保護等に適切に取り組んでいるか			
地域連携		4	4
・地域の声を聞く体制は適切か			
・地域に貢献できる運営がされたか			
・他施設との連携が行われたか			
・地域雇用への配慮が行われたか			
<評価の理由> (指定管理者)			
・満足度アンケート等は行えなかったが、職員が定期的に訪問し様子を伺っている。			
・休日、夜間の緊急時などの対応は専用電話にて連絡を受ける体制としている。			
<評価の理由> (施設所管課)			
・緊急時やトラブル時の対応について連絡体制が確保され、入居者の安心・安全に努めている。			
・入居者の確保について、引き続き勧誘に努めている。			

3 評価点の平均と今後の対応

	評価(平均)	今後の対応(評価(平均)が「3.0」未満の場合)
指定管理者	3.7	5 極めて良好に実施されている。 4 適正に実施されている。 3 概ね適正に実施されている。 2 一部改善が必要である。 1 改善が必要である。
所管課	3.7	